

短
歌
の
部

最優秀賞

城崎へ古稀祝ほぐ旅に二人来て雪原に舞うコウノトリ見る

三重県名張市 森岡秀美

城崎への旅が古稀の祝いとは何とも素晴らしい企画であることよ。幸せを運び、夫婦の絆の大切さを象徴するコウノトリに出会うとは。雪原に舞う姿は終生の思い出になるう。これ以上のめでたいことが他にあらうか。素材と言い、背景と言い、申し分なし。末長い幸を祈りあげます。

優秀賞

語尾上がる但馬ことばの優しさに今亡き人の面影の映ゆ

奈良県大和郡山市 水野隆司

旅の楽しさはお国言葉からも伝わる。新鮮な言葉との触れ合いの場に今亡き人もいた。そしてそのときの光景も鮮やかに湧き上がって来る。何と言う懐かしさ、何と言う慕わしさ。心に刻んだ語尾の上がる優しいことばは全身を包んで心に染み入るようだ。

蟹の身をほぐすがごとく吾の悩み湯煙包みてさらりと消ゆる

東京都足立区 佐藤 春夫

多くの悩みを抱えながら湯の旅に来て、蟹を味わう。今まで苦しんでいたことが次第次第に剥がれてゆく。あたかも蟹の身をほぐすように。味覚もさることながら、その身のほぐれ方が、いま食している蟹のようだという。思う存分味わうがいい。そして明日への活力を養っておこう。

湯上りの体を撫でてふうわりと川風涼し君待つあいだ

滋賀県大津市 木村 史枝

結句でこの歌が恋の歌だと分かる。「君」はまだのんびりと湯にいるらしく、私は湯上りのほてった体を風にさらしている。風も心得て、「ふうわりと」吹くらしい…。ここから始まる甘い恋の物語は読む人の想像力に任せておこうか。

湯の里や柳の陰の下駄の音異国言葉も時に混じりて

愛知県名古屋市 松本 理恵子

漢字の多さも「の」の多さもさほど気にならないようだ。国際化した城崎の風光と人の動きを、肌、目、耳など全感覚を通して捉え、うまく切り取って一首に仕立てている。「湯の里」とすることや、結句を「て」にすることも手慣れた表現だ。

雨模様知らぬふりして湯を巡り肩まで浸かれば心晴れやか

兵庫県丹波篠山市 上田 春陽

「知らぬふり」だから本当は知っている。雨の降ることを気にしない様子で外湯に行き、否、まったく気にならないくらいに湯が素晴らしかったのだ。「浸かれば」というのは確定の意味で、結句は平凡ながら思いの核心を衝いていよう。真直ぐな表現が力強く心地よい。

入 選

三姉妹八十路の旅を城崎に露天にひとり父母の追憶

大阪府羽曳野市

赤澤 皆

玄さんの顔が誰かに似ていると思えばらぶら外湯を巡る

兵庫県明石市

小田 和子

風そよと水面をなでる柳かな湯けむり昇る城崎温泉

愛知県名古屋市

松 本 正 則

大谿の川面揺らせる芽柳のいろ濃く照らす太陽まぶし

兵庫県豊岡市

森 田 洋

若人の鉦^{かね}や太鼓の音響く城崎社を照らす名月

大阪府豊能郡

吉 岡 昭 代

夫逝けばそぞろ歩きの懐かしく木屋町通りに花いかだ愛^めず

兵庫県豊岡市

津 渕 元 子

お揃いの下駄に思い出またひとつふえて楽しい城崎の旅

大阪府寝屋川市

藤 井 佳 樹

投句箱置かれし町や風光る一の湯前の足湯に遊ぶ

兵庫県姫路市

松 本 典 子

湯けむりの窓の外には春の雪街ゆく人も番傘さして

兵庫県豊岡市

竹 内 木 一

湯から湯へ渡りて夜風の桜道火照る体をひやりと撫でる

愛知県岡崎市

杉 本 明 日 花

来し方の温泉行脚の感想は城崎の湯が日本第一

兵庫県伊丹市

瀬 川 唯 安

涼やかに夏風なびく柳の木浴衣の袖が音もなく揺れ

大阪府大阪市

太田 愛莉

湯に浸かり言の葉紡ぎ忘れじの父の背流す城崎の夢

京都府福知山市

山口 秀樹

湯の町で麦わら細工の指輪はめくれし夫と結婚記念日

兵庫県尼崎市

荒川 としみ

湯巡りは外国言葉飛び交いて湯けむりの中国際交流

兵庫県加古川市

橘 真希

志賀直哉の「城の崎にて」を反芻し出で湯の町を一巡りする

北海道札幌市

藤林 正則

城崎を訪うやひよんの実落つる頃しぐれそほ降る夕となりけり

兵庫県姫路市

中島 保

カラコロと二人で合わす下駄の音外湯巡りの夫婦の歩み

福井県あわら市

笹岡一彦

脱衣場の着付け指導が始まって言葉なくとも弾ける笑顔

兵庫県豊岡市

川原美也子

碧の季節白く羽ばたく鶴^{つる}出湯を想い城崎に鳴く

熊本県合志市

吉田友紀

新緑の柳葉映す大谿川地蔵湯前をゆるやか流れ

兵庫県朝来市

前田吉幸

祖父が詠みわたしが継いだ言の葉は湯けむりの中そっと生きてる

大阪府四條畷市

今井祐希子

整然と列^{なら}んだ下駄はめいめいにデュエット鳴らす時を待つてる

大阪府大阪市

神足颯人

浴衣着て下駄を鳴らして湯めぐりの楽しさを知る城崎に来て

山梨県甲府市

佐野一彦

コウノトリは見たかレモン彗星と城崎に湧く湯のはじまりを

広島県東広島市

宮崎香陽子

外湯めぐりいい湯入って何往復友と行けば過ぎる一瞬

京都府京都市

伊藤朱里

小雪舞う城崎鴻の湯じんわりと浸かれば初湯のピリリと噛みつく

兵庫県豊岡市

谷口俊一

春手前城崎温泉旅行にて日々の疲れをまず癒したり

大阪府大阪市

増本ゆき

城崎の外湯めぐりに雪しづく柳ゆらして湯けむり淡し

兵庫県神戸市

松本瑞穂

嬉しさの波は終わらぬ終着駅ここは城崎マリンワールド

滋賀県甲賀市

増井 怜史朗

シルバーカー頼りに巡る湯めぐりは十の眼に見守られており

兵庫県美方郡

國谷 由喜子

下駄の音消えて月のみ残りけり城崎の夜の橋のまんなか

兵庫県川西市

木内 美由紀

雪の夜に蟹三味の城崎を語り続けて若返る声

神奈川県川崎市

谷藤 眞佐恵

城崎の歴史を紡ぐ鶴永遠に幾代に幸はこぶ

兵庫県豊岡市

畑中 照久

城崎の土産は松葉と決めていた夫無き今は一人セコ食む

大阪府吹田市

市場 さと枝

悠久の玄武の洞と相まみえ千年先のこの地球案ず

神奈川県川崎市

水上 浩

春を待つ紅葉の新芽赤く萌ゆわれ城崎にてやる気充電

高知県四万十市

畠 中 晶 代

木の先の秘仏祀りし温泉寺卯月の末にまた訪ねゆく

大阪府大阪市

八 木 俊 憲

「城崎」は響きがかなりかつこいい「ストックホルム」とおんなじぐらい

京都府京都市

服 部 朋 樹

悠久の円山の流れの河岸に佇ち卒寿の凝り吐息に流す

兵庫県豊岡市

藤 田 幸 美

岩走る垂水の側に聞こゆなり出湯に響く城崎の営み

大阪府大阪市

小 川 優 智

プロポーズ覚悟の城崎雪解けの屋根の雫は愛の涙か

大阪府東大阪市

土肥弘明

湯けむりにひとり沈む誕生日月夜の下で君を想いて

兵庫県西宮市

東末諒介

還暦に長寿を誓う城崎で子らの下駄追う未来高鳴る

広島県広島市

島原真由美